



直営施工による計画的な保全管理

えだの
枝野 8 区資源保全隊（宮城県角田市）

かくだし

- 本地区内の水路は、施設の造成後50年以上が経過し、磨耗により水路内面の骨材が露出する等、老朽化が進んでいる状況。これに加えて、東日本大震災の影響により、一部水路において目地の破損や不同沈下が生じるなど、施設の機能低下が一層進行。
- このため、本組織では、施設の機能診断を行い、施設の機能低下状況に応じて、目地詰めや水路内面のライニング（舗装材の被覆）を直営施工により実施。
- 取組を開始した当時は慣れない作業に苦労したが、現在では、施工可能延長が増加するなど技術力が向上。また、これらの経験の蓄積が、活動組織の自信に繋がっている。

【地区概要】

- ・取組面積 91ha（田 85ha、畑 6ha）
- ・資源量 水路 15.2km、農道 5.6km
- ・主な構成員
農業者、自治会、PTA、土地改良区等
- ・交付金 約5百万円（H29）

（農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化））

水路の状況（補修前）



既設水路の劣化状況

- 地区内の水路は、造成後50年以上経過しており、摩耗により骨材が露出するなど老朽化が進行。
- さらに、東日本大震災の影響により、目地の破損や水路の不同沈下が発生。

機能診断、軽微な補修



機能低下状況の調査、評価



水路の目地詰め（直営施工）

水路の補修（直営施工）



水路内面のライニング



補修工事の経験者が中心となり
直営施工を実施

※ライニング・・・表面を保護するため、他の材料を被覆すること。